



2022年（令和4年）8月20日発行

第440号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害センター

所長 岩本 幸子

編集 いこいの村編集委員会

〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

電話 (0773) 46-0101

ファクス (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi/>

栗の木寮 作業班 「自分らしい仕事」を目指して再スタート！

1班 農作業・リサイクル回収



2班 木工・和紙作り



3班 創作活動



栗の木寮の大切な活動の一つは、いきいきとした暮らしを築くための「仕事」です。
老朽化した第三作業棟の内装を職員と仲間で修繕して、新たな活動の場として活用しています。
ゆったりと過ごしやすい環境を整えることによって、様々な事情で作業への参加が難しかった
仲間たちに変化が表れました。

次ページへ続く⇒

「仕事」を通じて人生の主人公になる

仲間の「仕事」は栗の木寮が大切にしている取り組みの一つです。栗の木寮では、それぞれの適正や希望に合わせた班分けをしています。そして育てた野菜や木工作品・和紙などを納品して収入を得ています。

いこいの村が開所した当初は、農作業としてみなわ作りに力を入れていましたが、仲間の高齢化に伴い仕事をする仲間が少なくなり、継続が難しくなっていました。

しかし仲間の生活には「仕事」が強く根付いており、何とか今の仲間にあつた形の仕事はないかと話し合いを重ねました。大切なことは収入を得ることだけでなく、一人ひとりが集団の中で役割を持つとともに、それにより「自分は〇〇を頑張っている！」という自信を持つことなのです。



7月1日「嵯峨全国手話研修センター」にて、仲間達の創作活動の成果を多くの人に見てもらおうと、展示会が開かれました。

うちには仕事があるけえ」

日中テレビを見ておられることの多いNさんは、競馬がお好きで、新聞を見て順位を予想して楽しんでおられます。元々集中して仕事をこなす力を持つておられましたが、年齢を重ねるごとに何度か入院もされて、お一人で過ごされる時間が多くなりました。そんな中でNさんにも何か出来る仕事はないか、職員も一緒に考えて、仲間が仕事に來たかどうかの出席簿付けをお願いすることになりました。



お仕事中のNさん。一人一人の出勤状況を見て出勤簿を確認されます。

ある日の事、Nさんがハンコを押しておられる所にたまたま通りかかった梅の木寮の援助員が声をかけたそうです。しばらくお話をされたあと、Nさんは「うちには仕事があるけえ」とお話を中断、仕事を再開されました。

毎日テレビを見ておられたNさんから「自分には仕事がある」という言葉が発せられたのです。自分の役割を持ち、それを全うされる姿はいいきとされていました。

作業棟へ出発！



黙々とシュレッダー作業に励まれています。自己表現が苦手な仲間も参加するための工夫をしています。

仲間たちの「仕事」は一般的なものとは少し違いかもしれません。しかし責任感を持って取り組まれていることに違いはありません。例えば3班の仲間は収入はありませんが、それぞれが「主人公になれるものづくり」をしています。それが仲間の「仕事」なのだと思います。変化があつたのはNさんだけではありません。職員の目から見て作業に行けるか心配...と思われるけれど、始まってみると驚くほどのやる気を見せて下さった方は他にもおられます。

仲間の暮らしの中で「仕事」はとても大事な意味を持っていて、また皆さんが自分の仕事に誇りをもっているのだと日々の支援の中で感じています。自分の誇れることを紹介できる仲間は、本当に素敵です。



普段レクリエーションや作業にはあまり参加されないFさん。身体のしんどさがある日は一日ジッと座って、辛そうな表情が見られる時もあります。

ところが、いこいの村40周年記念品のしおり作りを勧めたところ、上手な字でしおりに「ありがとう」と書かれて、なんと30枚も作って下さいました。作業の後に、職員に指文字で「ありがとう」と言われたそうです。

関心のないことには反応を返されず意思表示も少ないFさんから、そのような反応があったことは本当に嬉しいです。

生活援助員

ホッとを もっとのコーナー



入所者のNさんはテレビや動画を観るのが大好きなのですが、困ったことがあると気持ちの整理ができずイライラしてしまう時もあります。

そのNさんが「DVDを観たい」と持ってこられた時、職員が機器の操作方法が分からず四苦八苦していると、笑顔で一緒に操作をして下さいました。

職員としても「早く準備しなければ！」と焦っていたので、助っ人Nさんの姿に温かい気持ちになりました。

生活援助員

部長エッセイ



いこいの村
梅の木寮
部長
記 由美

令和2年の冬、コロナウイルスが大陸からやってきて、誰もがすぐに収束するだろうと思いつながら2年余りが過ぎました。マスク生活も長くなりました。

政府が布マスクを全戸発送し、その後お店のマスクは完売し、押し入れからミシンを出してきて手作りもしました。かわいい赤いリンゴの柄のマスクを作りつけていくと、認知症の方が「あんだ、口から血が出るよ」とティッシュで拭いてくださり、笑ってしまいました。

「口元が見えない、何を言ってるかわからない」と聞かない方から指摘を受け、透明マスクをつけました。

いこいの村の職員も、高齢の利用者の命を守るためと、暑い日もお風呂の支援の時も必ずマスクを着用しました。

それでも7月初旬に、梅の木寮短期入所棟で利用者と職員合わせて10人余りがコロナ感染し、いわゆるクラスターが発生しました。保健所の指導の下、感染がこれ以上広がらないようにと、日々対策を講じました。短期入所を生活の支えにしてくださっている方々には、その間ご利用を断らせていただき大変ご迷惑をおかけしました。「コロナが発生し、利用の予約をキャンセルさせてください」と電話をかけたとき、ほとんどの方がお叱りではなく、ねぎらいの言葉をくださったことに感激しました。

今後、感染対策をさらに強化し、利用して下さっている方々にご迷惑をかけないように努力してまいります。それにしてもコロナウイルス。もう収束してもいいんじゃない？

1992年（平成4年）

『老後に安心して暮らせる場を！』栗の木寮から梅の木寮へ



京都市内の繁華街での街頭演説、資源回収などを通じて、自己資金作りに高齢者自身も参加し、自らの暮らしの場は自ら作ろうと大変な努力をされました。



1992年（平成4年）特別養護老人ホームいこいの村梅の木寮が開所しました。京都のろうあ者の願いを取りまとめた「いこいの村構想」の中の一つが長い運動を経て実現しました。

当時は、手話の理解がなく、ろう者は入院した時にベッド柵に手足を縛られるということが少なくありませんでした。また、地域の高齢者施設では手話がわかる職員がおらず、入所している高齢ろう者はコミュニケーションがなく寂しく暮らしていました。このような実情から、「老後、手話で語り合い、安心して暮らせる場が必要」と老人ホームの建設が望まれたのです。

「いこいの村構想」の実現のために結成された「いこいの村建設委員会」は、京都の高齢ろう者の生活実態調査を行い、悲惨な状況に置かれている実情を行政に理解してもらいながら、梅の木寮の建設運動に取り組まれました。

栗の木寮の仲間の中にも、高齢になりゆっくりとしたペースでの仕事を望まれる方や、医療的ケアが必要になったり排泄支援が必要になった方がおられました。栗の木寮の仲間にとっても、年相応のゆっくりした暮らしが送れる梅の木寮は安心できる拠り所として必要でした。

こうして、様々な高齢ろう者のニーズによってできた梅の木寮は、今年で30周年を迎えます。

（梅の木寮 渡部泰之）

1994年（平成6年）

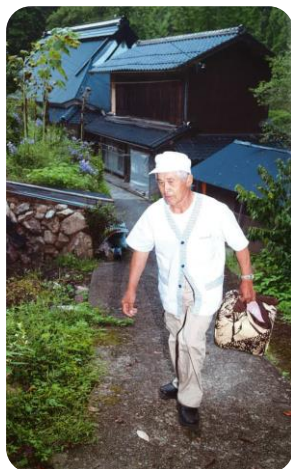
『独自事業としての「訪問給食サービス」開始、地域へ広まる』

梅の木寮建設運動の際には、「老人ホームだけでなく、在宅福祉も充実してほしい」という声が多く寄せられました。建設運動が実り、綾部市の理解も得て、1992年（平成4年）に在宅福祉の拠点となる綾部東部在宅介護支援センターが誕生しました。地元の高齢者の困りごとを伺う中で「食事作りが大変」という声が寄せられました。何かできることがないかと相談し、1994年（平成6年）12月8日、訪問給食サービスがいこいの村の「独自事業」として始まりました。

当初は毎週木曜、口上林地域の方だけの配達でした。他の地域からも利用希望を伺うようになり、徐々に対応地域を広げ、2000年（平成12年）、綾部市の制度「高齢者等配食サービス事業」へと発展しました。

制度のない所から、独居高齢者の声や生活の様子から要望や課題を集約し、制度に結び付けていった配食事業。これからも地域の声を拾い、新たな取り組みや事業に結び付けていきたいと考えています。

山奥や、雪深い中でも、待っている方々に食事を届ける配達員。「栄養に配慮した物を届けてもらう事が嬉しい」「誰とも話をしない日もある中、配達員さんに声をかけてもらい、弁当だけでなく、喜びを届けてもらっている」等の声を聞かせてもらっています。



（綾部東部在宅介護支援センター 吉田正和）

1998年（平成10年）

『天田地方聴覚言語障害センター開所！』

「天田地域に手話通訳者の設置を！」との強い要望が実り、念願だった「天田地方聴覚言語障害センター（現：福知山市聴覚言語障害センター）」が1998年（平成10年）7月1日に開所しました。開所に至るまで、地元の聴覚障害者協会をはじめとする関係団体のネットワーク活動により要望活動を続けていました。1998年（平成10年）3月1日には、大江町にて「第24回耳の日記念集会」を開催し、京都府下から約1,000人が集い、手話通訳者の必要性を市民府民に訴えたことが大きな後押しとなりました。

天田地方聴覚言語障害センターでの取り組みがモデルとなり、京丹後、宮津与謝、舞鶴の聴覚障害者のための地域活動支援センター設立へとつながり、さらには全国の同様のセンター設立へと広がっていきました。京都府北部の大切な一歩が、天田地方聴覚言語障害センターからスタートしたのです。

開所後、聴覚障害者の集う場として、1998年（平成10年）年8月「木曜日の会」を立ち上げ、同じ聴覚障害のある仲間が集い、学び、交流する中で豊かなコミュニケーションと連帯を生み出しています。



（福知山市聴覚言語障害センター 菅井奈津子）

喫茶「山百合」再開！ 新たな憩いの場を目指して



「ゆったりと過ごせる
憩いの場を作りたい」

梅の木寮入所者自治会年輪の会は梅の木寮での暮らしを自分たちの手で豊かにしていくため、1993年（平成5年）に入所者の皆さんが立ち上げられた自治会です。聴覚障害のある方々による活動だった年輪の会は、2年前に87名の生活者皆さんが参画する会に発展しました。

今年3月に年輪の会会長から施設長へ「要望書」が提出されました。その要望に応えるべく、職員や年輪の会役員の皆さんと職員とが共働して、要望実現に向けた取り組みを開始しました。



5月 年輪の会総会の場で
施設長から要望書への回答を行いました。

要望の取りまとめは各棟フロアから選出されている年輪の会役員のみなさんが中心となってまとめられ、3月の29年間ご苦労様会で施設長に提出されました。

「寿司、刺身、ケーキ：おいしいものが食べたい」「みんなで一緒に出掛けたい」「30周年に向けて何か形に残る物を作りたい」「ひのきの家や花の家、空の家もトイレにウォシュレットをつけてほしい」「夜勤の職員が2人に増えないだろうか」「なかなか家族に会えていない。家族に会いたい」等々生活者の皆さんが思っておられることをたくさん伺うことができました。

要望の中に「気軽に集まれる喫茶の場が欲しい。そこでゆったりお話がしたい」という内容がありました。ゆったり過ごせる場を作れないか、年輪の会役員の皆さんと事務局職員とで相談し、しばらくお休みしていた喫茶再開に向けて取り組みを開始しました。

喫茶「山百合（やまゆり）」
再開に向けて

2年前、役員の方が中心となって喫茶「山百合」を立ち上げられました。新型コロナウイルス感染症予防のため、思うように活動できない状態が続いていましたが、今回の要望実現のためにも本格的な再開に向けて試行を始めました。以前喫茶を担当されていた頃とはメンバーが変わり、ちょうどよい濃さのコーヒーを入れるため、一生懸命練習を重ねられています。

試飲でお出ししたときに「おいしい」と全部飲み干される様子を見て、練習をされた役員の方々の顔もほころんでいました。

さらなる発展を



「気軽に集まれる喫茶の場」の実現に向けて取り組まれているのと同時に、梅の木寮30周年記念として、かるたづくりも進行中です。今は新型コロナウイルスが蔓延し、お客さんをお呼びしたりご家族と会うこともなかなかできず皆さんには寂しい思いをさせています。感染対策に気を付けて、まずは生活者のほっこりする時間を作るところから一緒に進めていきたいです。

そして、コロナが収束したら、ご家族を招待しておいしいコーヒーをふるまっていたきたいです。
（梅の木寮 岩田 祥吾）

引原 直樹



おいしく挽けるかな...

皆さんに喜んでいただけるようにと
一生懸命取り組まれています。

笑顔つどうデイサービス



いこいの村にある綾部東部デイサービスセンターには毎日多くの人が来られます。

皆さん素敵な笑顔で来られます。その笑顔の素は色々あります。「みんなに会ってお喋りが出来る」「お昼ご飯が楽しみ」「お風呂に入れる」「買い物が出る」「午後の取り組み」「イケメンの職員に会える(笑)」・・・などなど、たくさんあります。

今回はいこいの村のホームページにも掲載しているデイサービスの取り組みについてご紹介したいと思います。

選べる取り組み

デイサービスの取り組みは毎日午後2時～3時に行います。

週変わりで毎日2つの取り組みがあります。

1つは、体を動かす内容。もう一つは、体を動かさずに手や指先を動かしたり、頭を使う内容です。



熱中症、食中毒予防の健康学習もしています



その日の気分や体調で

毎日「朝の会」で、皆さんに取り組みの内容をお伝えしどちらかを選んでいただきます。

体を動かす取り組みを選ばれる方の中には、「どっちでもいいけど、体動かしただほうがええな」と言われる方から、「体を動かしていつまでも元気であらんと」と積極的な方で人それぞれ。中には「肩が痛いので体動かすのはせんと、見学しとくわ」と言われる方もおられますが、実際に取り組みが始まると、周りにつられて参加される方がほとんど。段々と熱が入り、うまくいかないと悔しがられます。

風船バレー



白熱中！

壁面創作の菖蒲の花づくり



また、もう一つの手や指先を動かしたり、頭を使う内容を選ばれる方には、「みんなと一緒に脳下しをしたい」という方、「今日は何のお菓子を作るんや」「今日は壁面創作やな。それをするわ」と言われる方もおられます。

素敵な作品ができました



7月の壁面創作「七夕」

「壁面創作」とは、毎月廊下に飾る壁飾りで、誕生会でお渡しする記念品のバースデーカードに貼る写真をその壁面創作の前で撮ってお渡ししています。壁面創作を楽しみにされている方もおられます。

皆さんの笑顔のおかげで

取り組みは、季節感や、ご利用の皆さんの様子を考え楽しんでもらえる様に工夫しています。皆さんが盛り上がって拍手をしている様子や、もう少しで得点になりそうだったのにならず悔しがっている様子。本人以上に周りが悔しがっている様子。予想外の好プレーでみんな一緒に喜んでいる様子を思い浮かべると何か面白い取り組みがないかな。どうすれば面白くなるかなと楽しんで考えられるようになってきます。

不定期ですが、いこいの村のホームページにデイサービスの記事を掲載しています。

皆さんもぜひご覧いただき、この笑顔つどうデイサービスをご利用の皆さんの楽しそうな表情を見て、一緒に楽しんでください。

(綾部東部

デイサービスセンター

中川啓男)

◆ご寄付 ありがとうございます◆

★★

4月1日～6月30日受付分（順不同）

口上林郵便局	様	綾部市十倉名畑町	食器洗剤など
渡邊 吉晴	様	綾部市睦寄町	30,000円
匿名希望	様	舞鶴市	10,000円
匿名希望	様	舞鶴市	100,000円

◆後援会 ご入会・ご継続 ありがとうございます◆

★★

4月1日～6月30日受付分（順不同）

梅木 久代	様	綾部市神宮寺町	継続
芝原 キ又枝	様	綾部市五泉町	継続

【掲載誤りのお詫び】

第439号において、7面の後援会ご入会・ご継続の住所に掲載誤りがございましたので、訂正するとともにお詫び申し上げます。

宇都宮 末子	様	綾部市睦合町
引原 信枝	様	綾部市睦合町
温井 好江	様	綾部市睦合町

～認知症安心サポート窓口～

- ・ 9月21日(水)
 - ・ 10月19日(水)
 - ・ 11月16日(水)
- 午後から



〈お問合せ先〉とくらの家

電話・ファクス：0773-46-0771

【耳の門の耳そうじ】



いこいの村への入り口に「耳の門」と呼ばれる門があるのをご存知でしょうか。今年いこいの村は40周年を迎えます。記念の年を迎えるにあたり、この度耳の門の掃除をしました。長年の汚れをスッキリ落として、これからたくさんの方をお出迎えします。

（総務課 永井景子）



☺耳そうじをしました☺

職員募集!

あなたの笑顔お待ちしております

※職種

介護職員(特養)、調理員、送迎員、ケアマネジャー、訪問介護員、看護職員

☆勤務時間相談に応じます

☆慣れていただくまで丁寧に指導します
お気軽に見学に来てくださいね♪



＜お問い合わせ窓口＞

いこいの村聴覚言語障害センター

電話 (0773) 46-0101

ファクス (0773) 46-0610 (担当：今西 和弘)

詳しくは、

[社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会HP](#)

もご覧ください

いこいの村の「知りたい」が見つかる!?

＜ホームページ＞

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi/>

いこいの村聴覚言語障害センター

検索

CLICK!!

または
QRコード



で検索してみてくださいね♪



みんなの手話

『仕事』

両手手のひらを上に向けて、
左右から指先を2回近づける

（絵）栗の木寮 西田加奈



×2

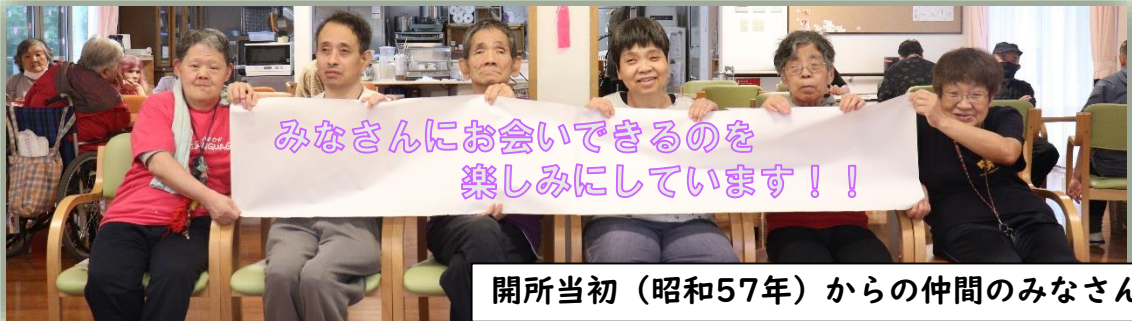




いこいの村 開所40周年記念祭で お待ちしております



昭和57年開所当初、数人の仲間と職員でスタートした栗の木寮。現在は38名（コスモス寮含む）の仲間と一緒に生活しています。40周年の感謝の気持ちを込めて、みんなで記念品を作成しています。



開所当初（昭和57年）からの仲間のみなさん

40周年記念祭の内容はとじ込みチラシをご覧ください！⇒

高齢者の方にも
おすすめ
やさしい献立
Vol.21

トマトのナムル



材料（2人分）

- ・にんにく 1片
- ・トマト 2個

☆調味料

- ・すりごま 大さじ3
- ・塩 小さじ1/2
- ・ごま油 大さじ2

🍅作り方🍅

- ①にんにくをすりおろす。
- ②トマト以外の調味料をすべて合わせておく。
- ③トマトのヘタを取り、一口サイズに切る。
- ④合わせた調味料とトマトを混ぜて、皿に盛りつけると完成。

🍱豆知識

トマトは、**夏が旬の野菜**です。トマトには、**老化予防**が期待できるリコピンや**ストレス**、**風邪に対する抵抗力**を強めるビタミンCが多く含まれています。紹介した「トマトのナムル」には、にんにくを使っていますが、すりごまもたっぷり入っており、さっぱりと食べられます。